

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉格納容器漏えい率検査の 測定結果について

平成 15 年 6 月 4 日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所7号機(改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット)は、3月29日からプラントを停止し、5月6日より原子炉格納容器漏えい率検査の準備作業を行ってまいりましたが、本日、データの測定を終了いたしましたのでお知らせいたします。

6月1日に原子炉格納容器漏えい率検査のために昇圧を開始し、本日10時00分よりデータ測定を開始いたしました。データ測定は16時00分に終了し、検査データについて原子力安全・保安院から原子炉格納容器の気密性を判断するための漏えい率が判定基準を満たしていることをご確認いただきましたのでお知らせいたします。

なお、検査結果は以下の通りです。

本データ測定記録

検査日	データ測定時間	漏えい率測定値 (判定基準:0.36%/日以下)
6 / 4 (水)	10:00 ~ 16:00	0 . 0 3 7 % / 日

(参考)

予備データ測定記録

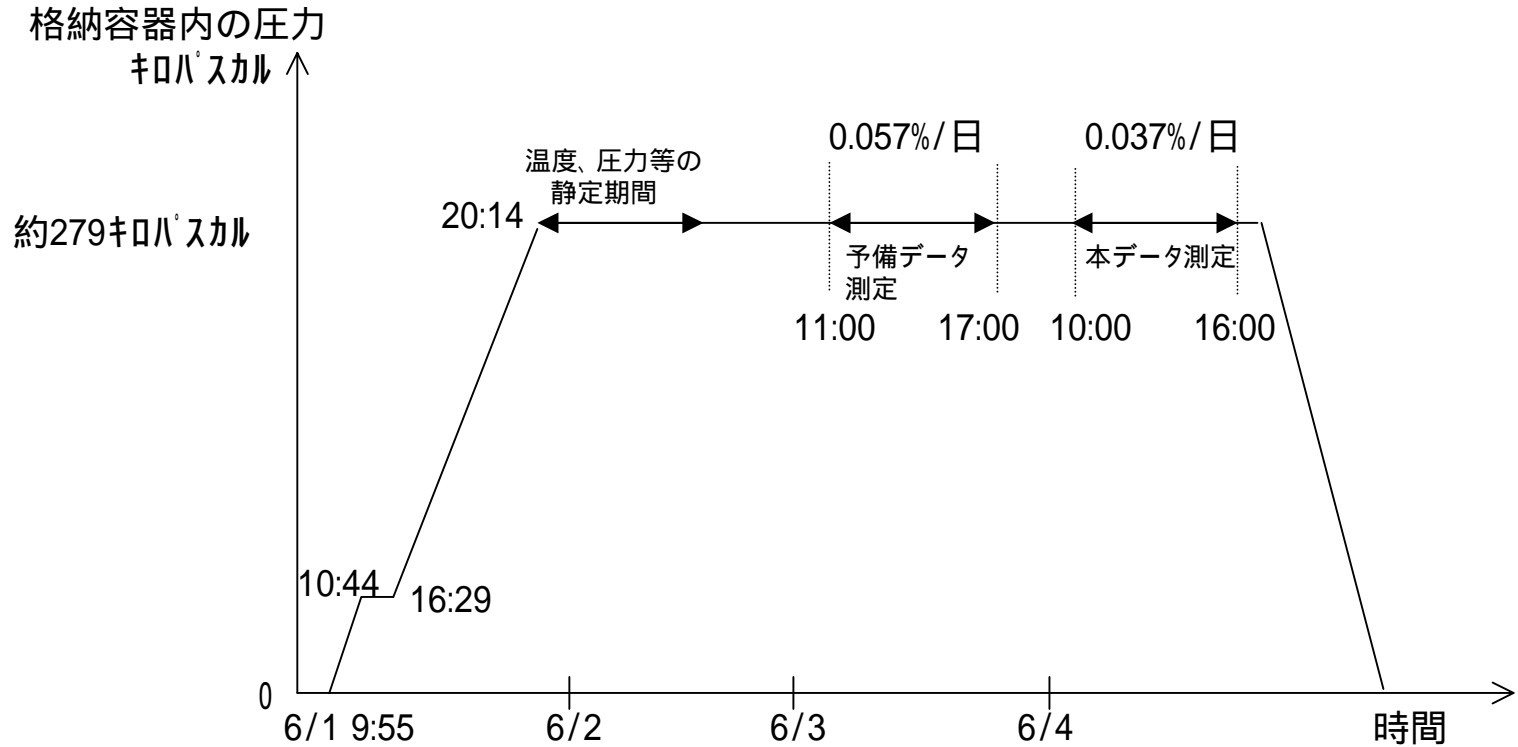
検査日	データ測定時間	漏えい率測定値 (判定基準:0.36%/日以下)
6 / 3 (火)	11:00 ~ 17:00	0 . 0 5 7 % / 日

今回の検査においては、厳正に実施されていることを確認するために、当該検査の対象となる弁のうち、特に厳重な管理を要する弁に対して封印作業を実施しておりますが、引き続き封印解除作業を実施し、検査が厳正に行われていたことを確認してまいります。

以 上

(参考)

柏崎刈羽原子力発電所7号機原子炉格納容器漏えい率検査実績



窒素ガスにより格納容器を試験圧力(279キロパスカル)以上まで加圧する。

(加圧中に一旦加圧を止め漏えい確認を実施)

予備データ測定として6時間のデータを測定する。

本データ測定として6時間のデータを測定する。

検査終了に伴い、格納容器の圧力を大気圧力まで降圧する。

原子炉格納容器の設計圧力

・被ばく評価では0.4%/日の漏えい量を仮定しているが、原子炉格納容器漏えい率試験を定めているJEAC4203に従い、試験の判定基準を0.36%/日と設定。